

## 1.動作概要

文字列「TOSHIBA」を2chのTSPIを用いて送信、受信を行い、受信したデータをTeraterm画面に表示します。

## 2.基本動作

Teraterm 画面「command >」と表示されるので、送信を行いたい場合は「write」と入力します。

「write」コマンドが入力されると、文字列「TOSHIBA」が送信され、Teraterm 画面は、

「command >」表示に戻ります。

受信データを表示するには、「read」と入力します。「read」コマンドが入力されると、受信データの読み込みを行い、受信したデータをTeraterm画面に表示し、「command >」表示に戻ります。

## 3.設定

TMPM4K4評価ボードで動作を確認しております。

### TSPI送信側

DO :PA0

CLK :PA2

### TSPI受信側

DI :PC1

CLK :PC2

### UART設定

TXD :PK1

ボーレート :115200(bps)

データ :8(bit)

パリティ :なし

ストップビット :1(bit)

フロー制御 無し

### ボード設定

評価ボード送信チャンネル側PA0(J7 4)と受信チャンネル側PC1(J10 2)を接続します

評価ボード送信チャンネル側PA2(J7 6)と受信チャンネル側PC2(J7 1)を接続します

#### 4.出力例

```
command > write  
command > read  
read data > TOSHIBA  
command >
```